

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】玉東町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
31	2009.1.30			熊本県	玉東町	5,626	24.4
構想の要約		生ゴミの肥料化や廃食用油のBDF 利用、果樹の剪定枝など木質バイオマスのエネルギー利用など、玉東町に多様に存在するバイオマスの利活用を進めるとともに、町民のバイオマスに対する理解や関心を深め、ゴミの減量化・環境に優しい循環型社会を形成する。					
構想に盛り込まれた事業		① 生ゴミの利活用 ② 廃食用油の利活用 ③ 木質系バイオマス(建築発生木材・剪定枝等)の利活用 ④ 未利用系バイオマス(稲わら・麦わら)の利活用					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
31		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油	○	果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他()			
建設発生木材	○				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他()					

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(石鹼、敷料)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

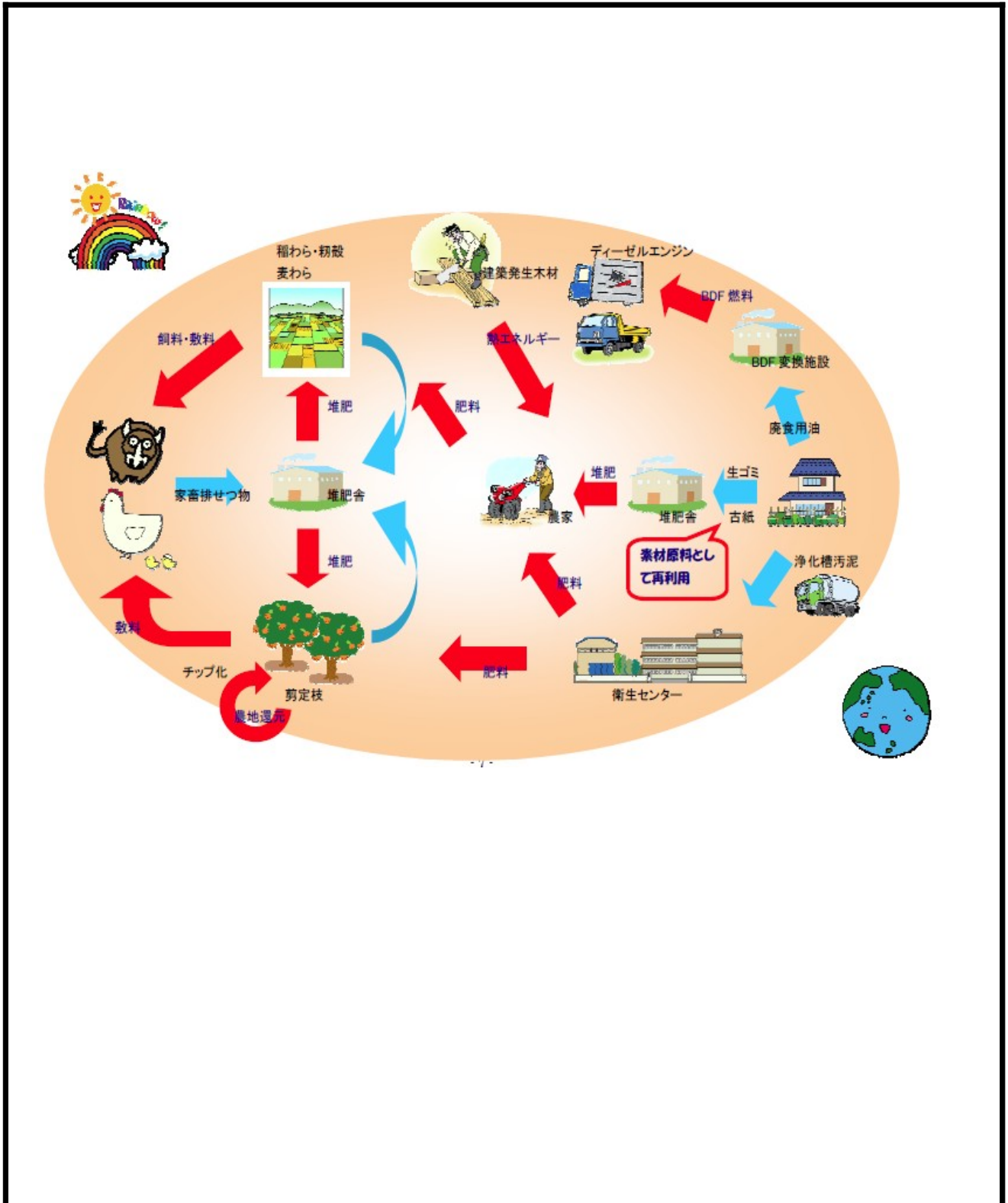
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量		変換・処理方法	仕向量		目標 利用率
	湿潤量	炭素量		湿潤量	炭素量	
	(t/年)	(Ct/年)		(t/年)	(Ct/年)	
廃棄物系バイオマス						90.4 %
生ゴミ	328 t	14.50 t	堆肥	328 t	14.50 t	100.0 %
廃食用油	9 t	6.43 t	BDF、石鹸	9 t	6.43 t	100.0 %
家畜排せつ物	1,940 t	115.76 t	堆肥	1,940 t	115.76 t	100.0 %
浄化槽汚泥	2,543 t	244.13 t	肥料	2,543 t	244.13 t	100.0 %
建築発生木材	125 t	55.04 t	チップ	62 t	27.30 t	49.6 %
古紙	383 t	136.08 t	素材原料	306 t	108.72 t	79.9 %
未利用系バイオマス						40.1 %
稲わら	857 t	245.36 t	飼料、敷料	342 t	97.92 t	39.9 %
籾殻	203 t	58.12 t	堆肥、敷料	203 t	58.12 t	100.0 %
麦わら	122 t	34.93 t	飼料、敷料	49 t	14.03 t	40.2 %
林地残材	956 t	212.94 t	素材原料	287 t	63.93 t	30.0 %
剪定枝	770 t	171.51 t	堆肥(農地還元)	250 t	55.69 t	32.5 %

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

	添付別紙(パンフレット等)参照 (事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)
事業の概要	